

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2017 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2017 本走行 2017/ 11/ 5(日)

ロボット No.: 1733

ロボット名: TITANIC

チーム名: 関学・東海・東洋・産技大合同チーム

記載責任者: 新井雄介

(2)

[1] 本走行前後の実験走行について

1 実験の目的

ロボットの自律走行時に左右に蛇行せず直進できるようなロボットパラメータを探ること

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

次のゴールポイントの間隔を 2m から 3m に変えた.

ゴールポイントに対するロボットから見た xy 方向のゴールポイントの公差を 0.1 から 0.5 に変えた

2.2 実験成果

比較的, まっすぐ走るようになった

[2] 本走行について

1 設定した目標

大清水公園(260m)の走破

2 本走行の結果

30m 付近で停止

3 どこまで目的が達成されたか

大清水公園まで走ることが最小の目標だったため, 一つも達成されなかった.

4 失敗した場合は, その理由として考えられること

URG とモータのオドメトリによる自己一推定の精度が低く, 地図上の他のポイントへロボットが移動してしまい, 自己位置を見失ってしまっことが失敗した原因のひとつである. また, チーム内での陰悪なムードをリーダーである私が断ち切れなかったことも原因であると考え. まさに「TITANIC」という名前がふさわしいチャレンジでした. 来年は, チームワークもロボットも磨いて出直してきます.

[3] 運営側, 実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい.

迅速で安全な運営をしてくださったことで, 安心してロボットを走らせることができました. お礼申し上げます.

来年もつくばチャレンジが催されることを期待しております.

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局（ challenge@rt-tsukuba.jp ）までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2017 ホームページで共有します。